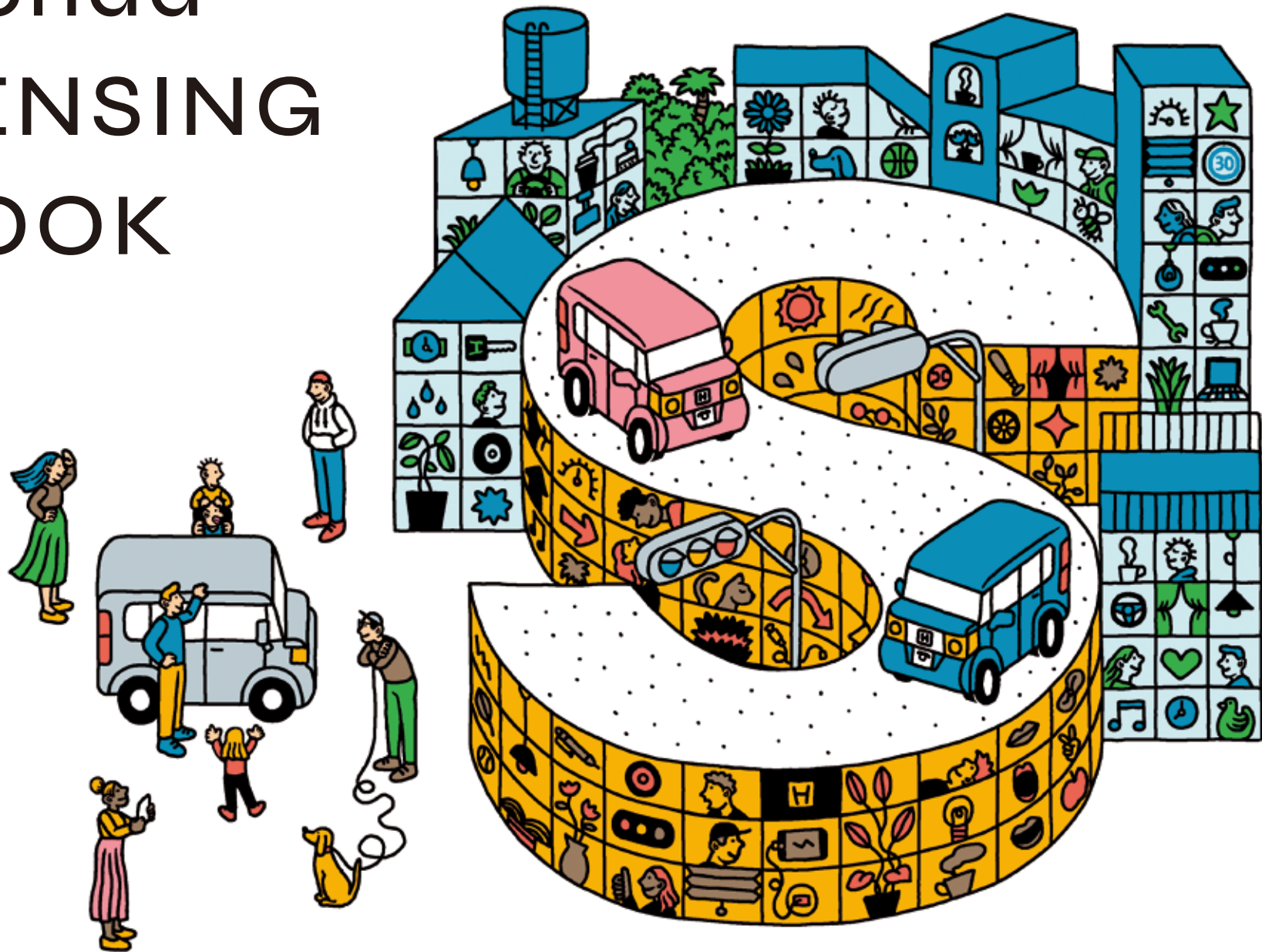


Honda SENSING BOOK

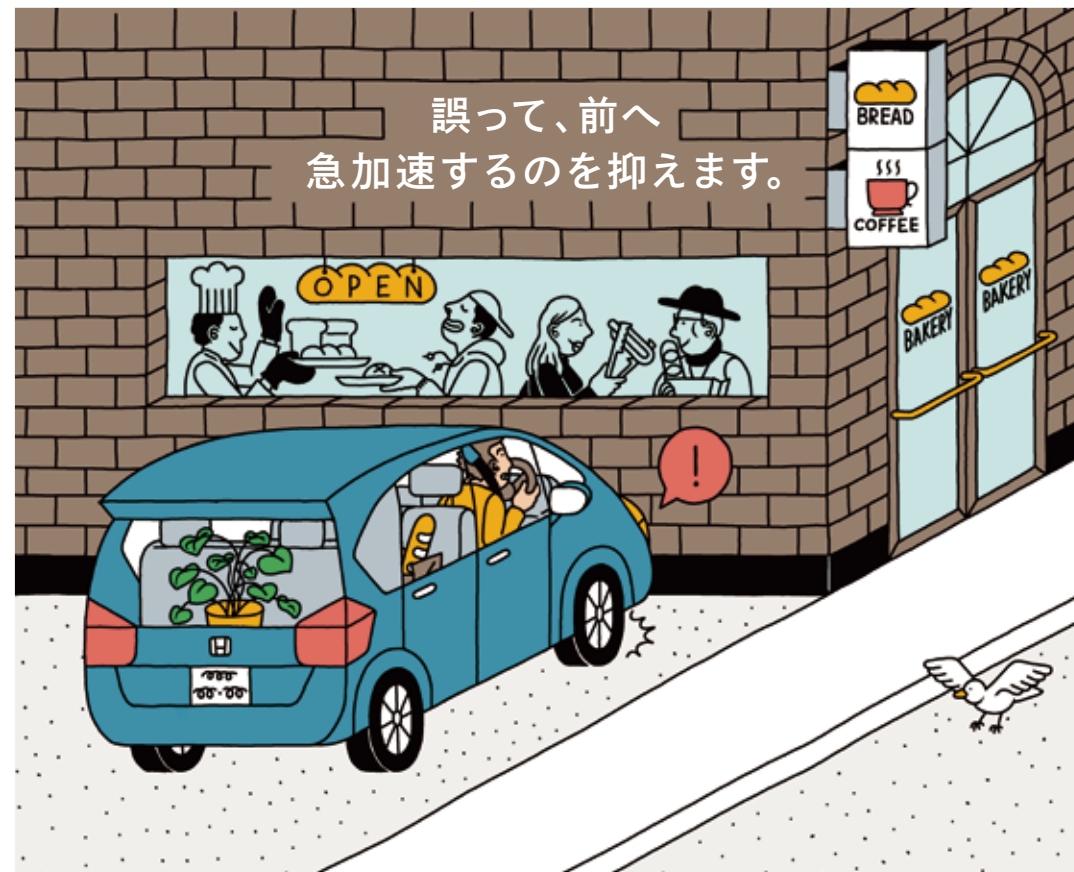
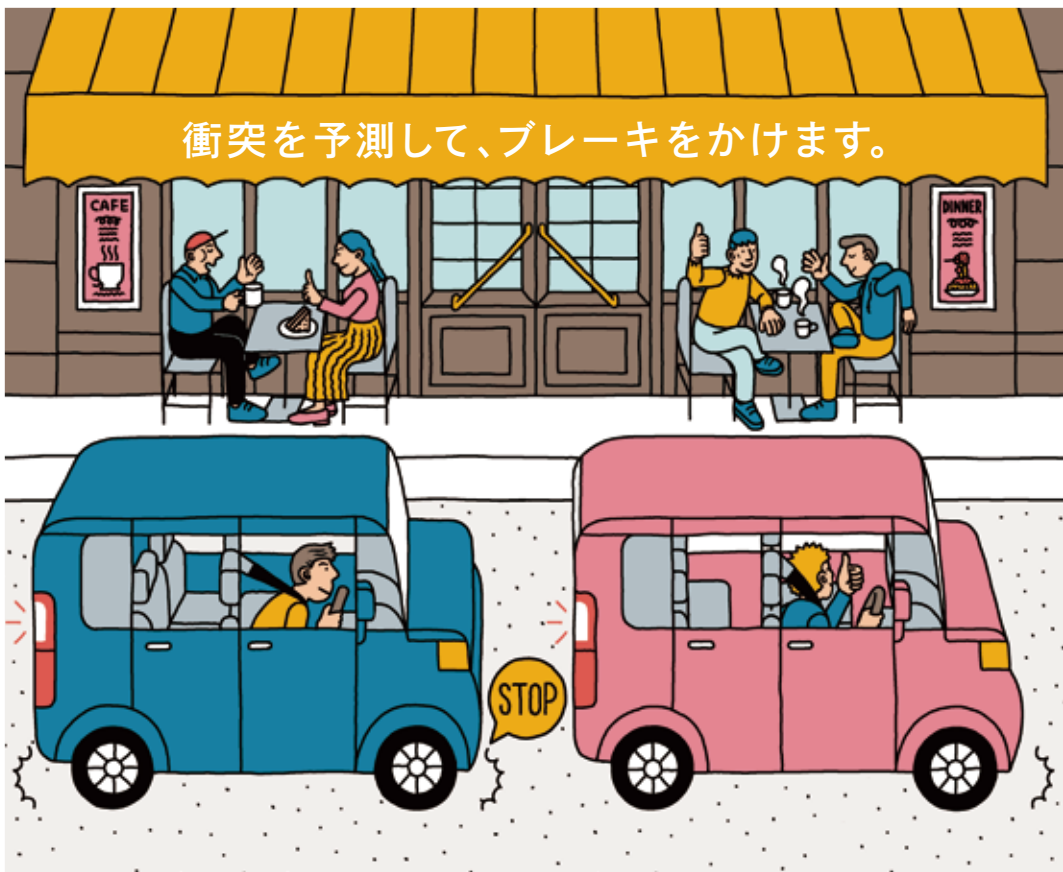


Honda
SENSING

先進機能でドライブがもっと安心に、もっとラクになる。

いつもの運転で「ヒヤッ!」としたり、遠出をしたときに「もっとラクに運転したい」と思ったことはありませんか?
Honda SENSINGは衝突を予測してブレーキをかけたリ、前のクルマにちょうどいい距離でついていったりできる
安心・快適機能を搭載した先進の安全運転支援システムです。
あらゆるシーンでサポートしてくれるHonda SENSINGとともってドライブを楽しみましょう!





1 ぶつからないために 衝突軽減ブレーキ (CMBS)

CMBS: Collision Mitigation Braking System

車両*や歩行者を検知し、衝突の危険がある場合に音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。衝突の危険が継続しているとシステムが判断した時は、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

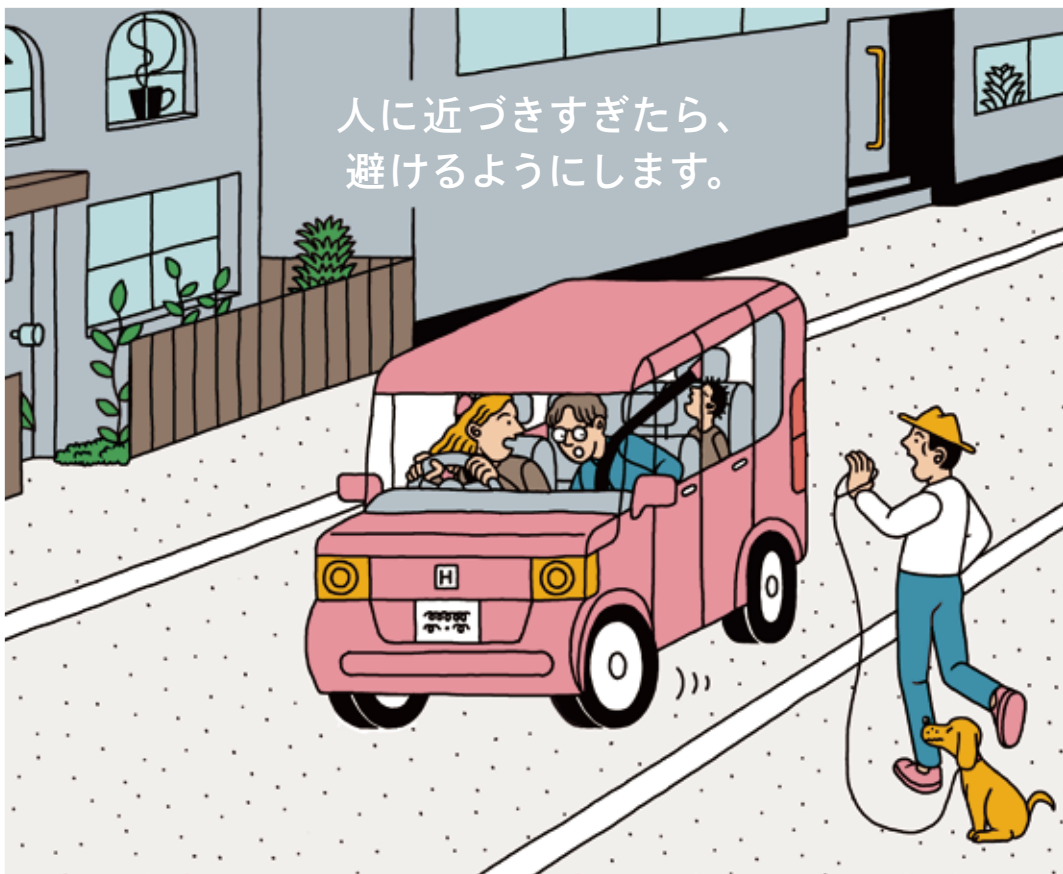
車種・タイプにより、搭載される機能は異なります。

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両*や歩行者に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に車両などの障害物*があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止します。

*作動条件や検知する障害物は車種により異なる場合があります。■車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。■イラストは機能説明のための作動イメージです。※「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違え衝突軽減システム」と呼びます。

2 飛び出さないために 誤発進抑制機能*

前方に障害物*があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。



3 歩行者に配慮 歩行者事故低減ステアリング

走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。ステアリングも制御して回避操作を支援します。

車種・タイプにより、搭載される機能は異なります。

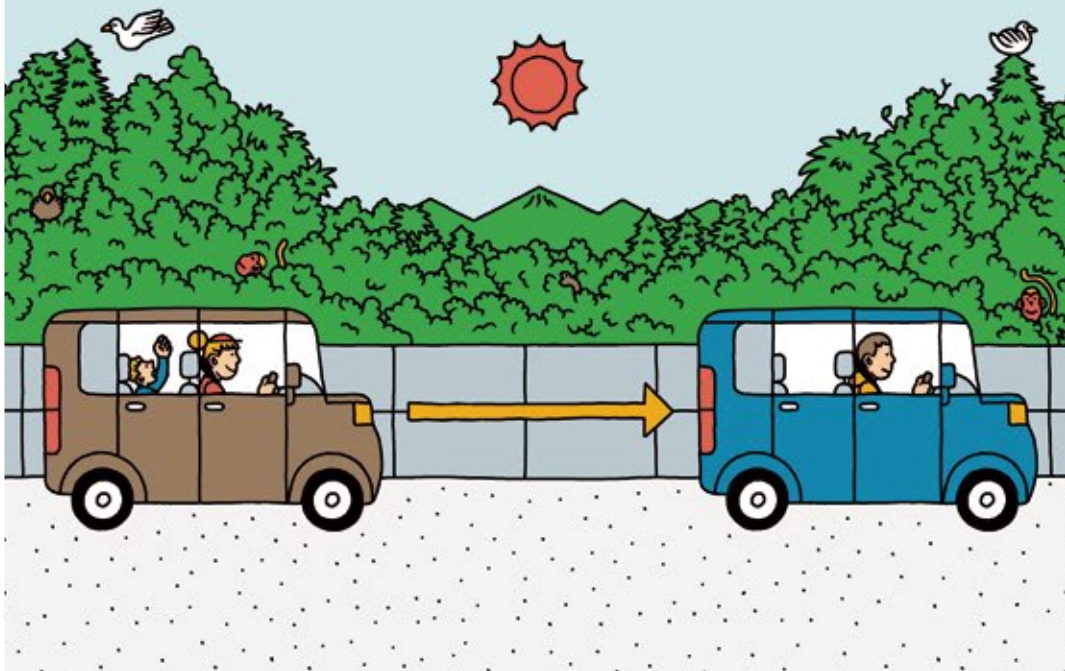
■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断したとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。■路外逸脱抑制機能は、約60km/h以上*で走行中、システムが路外への逸脱を予測したときに作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断したとき、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。



4 はみ出さないために 路外逸脱抑制機能

車線をはみ出しそうな際、逸脱を防ぐようにステアリングを制御して回避操作を支援するとともに、マルチインフォメーション・ディスプレイと音で警告します。

ちょうどいい距離で
ついていきます。

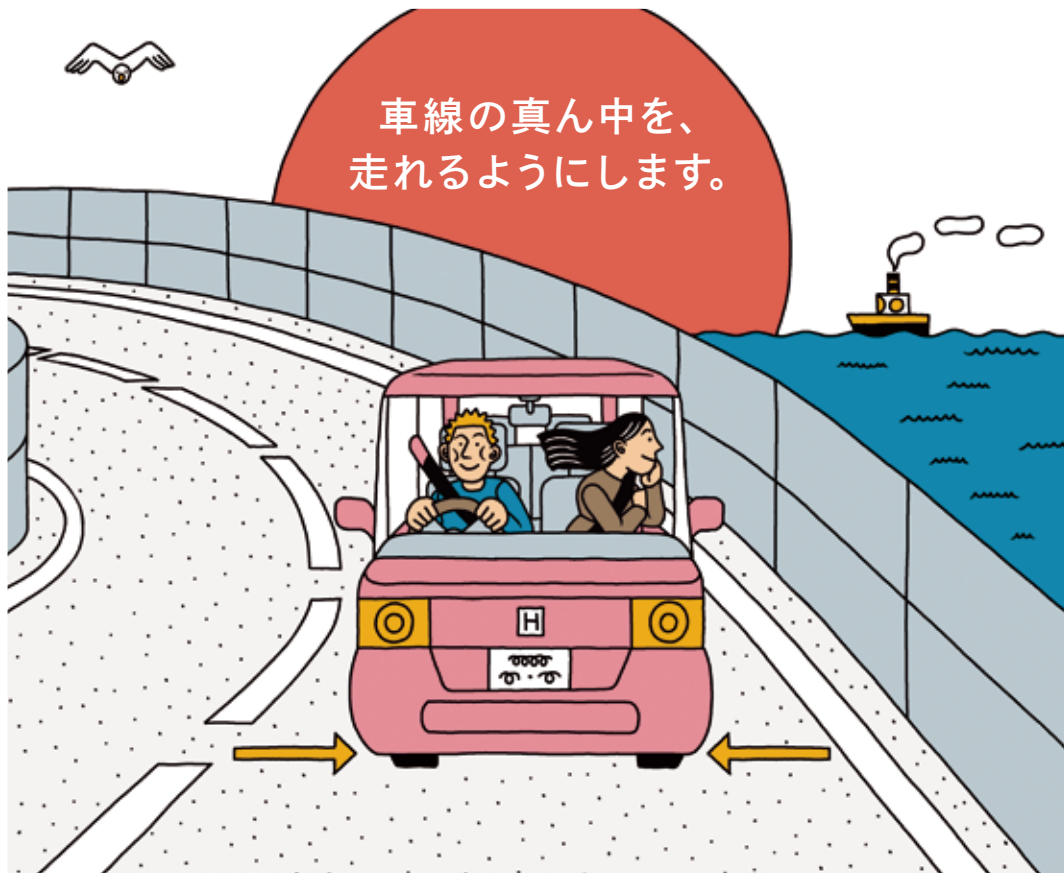


5 適切な車間距離を保つために アダプティブクルーズコントロール(ACC)

先行車がない場合は設定した車速を自動で維持し、
先行車がいる場合は自動で加減速をし、
適切な車間距離を保つよう支援します。

■アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、約30km/h以上で走行中に作動(渋滞追従機能付は先行車がいる場合、停車中から作動)します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h*以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作用させている場合には作動しません。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。

車線の真ん中を、
走れるようにします。



6 ふらつかないために 車線維持支援システム(LKAS) LKAS: Lane Keeping Assist System

高速道路や自動車専用道路を走行中、
車線の中央に沿って走れるようにステアリング操作をアシストします。
車線を外れそうな際には、マルチインフォメーション・ディスプレイの
表示と音で警告し注意を喚起します。

*作動条件や検知する障害物は車種により異なる場合があります。■車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。■イラストは機能説明のための作動イメージです。

前のクルマが進んだことを
お知らせします。



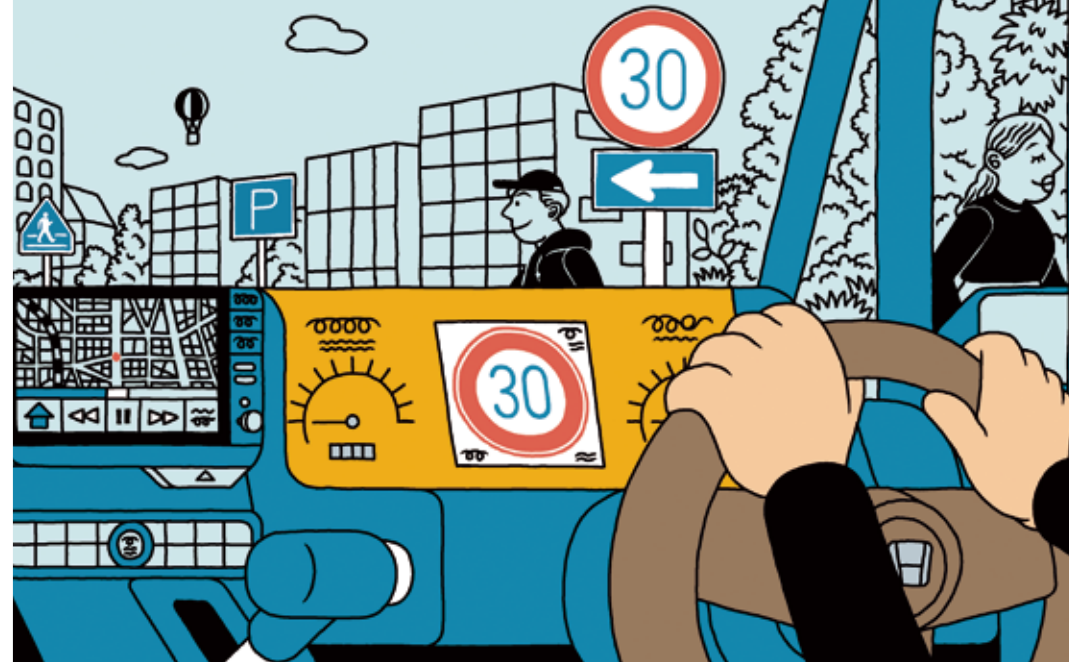
7 発進をお知らせ 先行車発進お知らせ機能

先行車が発進したことを、
音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示でお知らせします。

車種・タイプにより、搭載される機能は異なります。

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、マルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。

道路標識を見逃さないよう、
常に見張ってお知らせします。



8 みのがさないために 標識認識機能

走行中に道路標識を認識してマルチインフォメーション・ディスプレイに表示し、
安全運転を支援します。

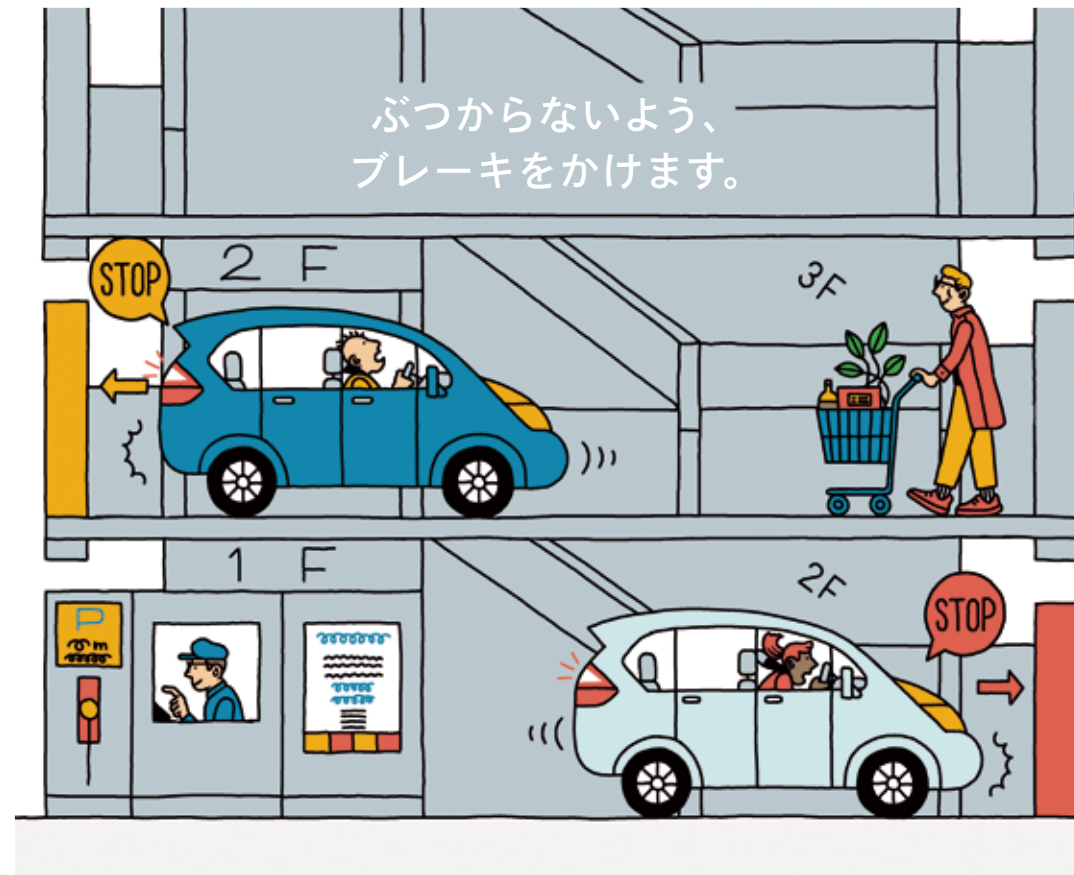
検知可能な標識





9 不意の後退を防ぐために 後方誤発進抑制機能*

後方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を防止するとともに音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。



10 ぶつからないために 近距離衝突軽減ブレーキ*

壁などの障害物の見落とし等により衝突するおそれがある際、運転者のブレーキ操作を支援し、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。

■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときエンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な後退を防止します。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h～約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。

■車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。■イラストは機能説明のための作動イメージです。■作動条件は車種により異なる場合があります。※「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせると「踏み間違え衝突軽減システム」と呼びます。

ハイビームとロービームを 自動で切り替えます。



11 良好な視界確保のために オートハイビーム

先行車や、対向車を検知してハイ/ロービームを自動で切り替えます。
良好な視界の確保を支援するとともに、切り替え操作の頻度も低減します。

車種・タイプにより、搭載される機能は異なります。

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。

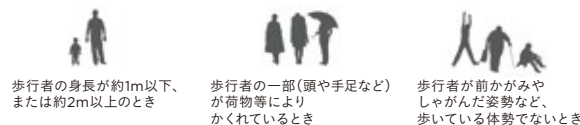
■作動条件は車種により異なる場合があります。

ご使用に際して、知っておいていただきたいこと。

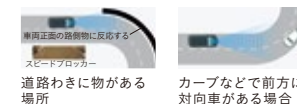


1 衝突軽減ブレーキ (CMBS)

■歩行者の状態により正しく検知できない場合があります。



■下記のようなシーンではシステムが作動してしまう場合があります。



■環境によってはシステムが作動しない場合があります。



運転支援システム使用中においても、運転者には運転条件に応じた適切なアクセル、ブレーキ及びハンドル操作を行う責任があります。

2 誤発進抑制機能 (ミリ波レーダーの場合) ■搭載車種は販売会社にお問い合わせください。

■下記のようなシーンではシステムが作動しない場合があります。



■下記のようなシーンではシステムが作動してしまう場合があります。



2 誤発進抑制機能 (ソナーセンサーの場合) ■搭載車種は販売会社にお問い合わせください。

9 後方誤発進抑制機能 / 10 近距離衝突軽減ブレーキ

■下記のようなシーンではシステムが作動しない場合があります。

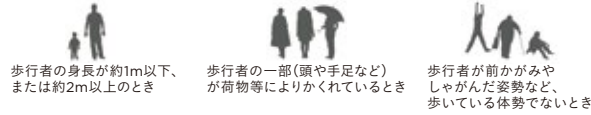


■下記のようなシーンではシステムが作動してしまう場合があります。



3 歩行者事故低減ステアリング

■歩行者の状態により正しく検知できない場合があります。



歩行者の身長が約1m以下、または約2m以上のとき

歩行者の一部(頭や手足など)が荷物等によりかくれているとき

歩行者が前かがみやしゃがんだ姿勢など、歩いている体勢でないとき

■環境によってはシステムが作動しない場合があります。



車線が薄くなっていて見えないうち、路面が濡れているとき

車線が陰に隠れて見えないうち

車線が実線ではないとき

直線路以外のとき

■下記の状態ではシステムが作動しません。



4 路外逸脱抑制機能

■下記のようなシーンではシステムが作動しない場合があります。



車線が薄くなっていて見えないうち、路面が濡れているとき

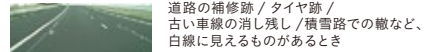
車線が陰に隠れて見えないうち

車線幅が極端に広い/狭いとき

きついカーブのとき

線のひかれていない分岐など、車線の途切れがあるとき

■下記のようなシーンではシステムが意図せず作動する場合があります。



道路の補修跡 / タイヤ跡 / 古い車線の消し残し / 積雪路での轍など、白線に見えるものがあるとき

■下記の状態ではシステムが作動しません。



5 アダプティブクルーズコントロール(ACC)

■下記のようなシーンではシステムが正常に作動しない場合があります。



橋の欄干の近くを走行したとき

夜間・トンネル内など暗い場所

中央分離帯などの壁の近くを走行したとき

大型トラックの側を走行したとき

前の車が急減速したときや、駐車しているとき、十分に減速できない可能性があります。

急加速等でタイヤが空転するとACCが解除されます。



近距離の割り込みや低速車の割り込みはブレーキが遅れる場合があります。



曲がりかねた道では、ACCが解除されたり、セットできない可能性があります。



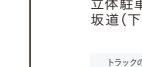
自動車以外のものや特殊な形状の車両のとき



トラックの上部を検知



パネルトラックやタンクローリーなど



逆光などで対象物が見えにくい場合



天候の状況(雨、雪、霧、フロントガラスの霜など)で対象物が見えにくい場合

6 車線維持支援システム(LKAS)

■下記のようなシーンではシステムが作動しない場合があります。



車線が薄くなっていて見えないうち、路面が濡れているとき

車線が陰に隠れて見えないうち



車線幅が極端に広い/狭いとき



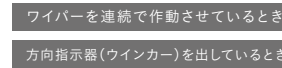
きついカーブのとき

■下記のようなシーンではシステムが意図せず作動する場合があります。



道路の補修跡 / タイヤ跡 / 古い車線の消し残し / 積雪路での轍など、白線に見えるものがあるとき

■下記の状態ではシステムが作動しません。



7 先行車発進お知らせ機能

■下記のようなシーンではシステムが作動しない場合があります。



前の車が極端に遅い速度で移動しているとき

カーブのとき



前の車が正面にいないとき



立体駐車場など坂道(登り坂)のとき



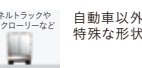
立体駐車場など坂道(下り坂)のとき



前の車との距離が極端に近い、もしくは離れているとき



トラックの上部を検知



パネルトラックやタンクローリーなど

自動車以外のものや特殊な形状の車両のとき

8 標識認識機能

■下記のようなシーンではシステムが正常に作動しない場合があります。



標識が自動車から遠く離れた位置にあるとき

カーブの先に標識が設置されているとき



色あせた標識

一部が隠れている標識

自車のヘッドライトの光が路面に反射してある標識(夜間)

標識が明瞭に見えないとき

■システムが正常に作動しない場合の誤表示例。



終了標識を認識できず標識を継続表示する

分岐/合流などで隣接車線の標識を表示する

電光式標識に光が当たっている場合、実際とは異なる標識を表示する



類似の標識

のぼり旗/看板

トラック背面の標識ステッカー

色や形の判別が難しく、対象の標識が無いのに、標識を表示する

11 オートハイビーム

■下記のようなシーンではシステムが正常に作動しない場合があります。



対向車や先行車のランプが明るい場合や暗い場合、片側点灯や無灯火の場合

周囲に街灯、電光掲示、信号機などの光源があるとき

カーブが多く連続する道や、起伏の多い道路を走行しているとき

トランクに重い荷物を積んでクルマが傾いているとき



前方の車両が突然現れたり、適切な方向を向いていないとき



対向車や先行車が二輪車、自転車などのとき



中央分離帯、街路樹などで対向車が見え隠れるとき

周囲の明るさが連続的に変わるとき

天候の状況(雨、雪、霧、フロントガラスの霜などのとき)

車両前方に標識やミラーなどの光を強く反射するものがあるとき



Honda SENSING elite 誕生

運転の疲労やストレスを軽減し、事故につながる

ヒューマンエラーをなくしたい。

Hondaの安全への想いが、革新技术として結実しました。

LEGENDの「Hybrid EX・Honda SENSING Elite」タイプに搭載。
取り扱い販売会社はホームページでご確認いただけます。
(一部取り扱いのない販売会社がございます。)

高速道路での渋滞時の疲れを大きく軽減。 システムがドライバーに代わって運転操作を行う画期的な機能を実現。

渋滞時、システムがアクセル、ブレーキ、ステアリングを操作し、ドライバーはステアリングから手が離せるだけでなく、周辺監視もシステムが行うため、ナビ画面でのテレビ・DVDの視聴や、目的地設定などナビの操作も可能*となる「トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)」を実現。ほかに数々の機能を備え、運転にかつてない安心感をもたらします。

*システムから要求があった場合には、運転者が運転操作を行う必要があります。詳しくはHonda SENSING Elite特設サイトでご確認ください。

■Honda SENSING Eliteの各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用したり、システムに頼った運転や運転者がシステムからの操作要求に応じない場合には、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。高速道路や自動車専用道本線上のあらゆる状況でアクセル・ブレーキ・ステアリング操作をするシステムではありません。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。システムからの操作要求があった場合にすぐに運転操作が可能な状態を保ってください。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。メーターなどにお知らせが表示された場合は指示にしたがってください。運転者による操作はシステムによる操作より優先されます。■ハンズオフ機能付車線内運転支援機能は、ドライバーモニタリングカメラが運転者の姿勢を正しくない(居眠り、わき見、不動等)と判断したときには作動しません。■ハンズオフ機能付車線変更支援機能は、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能を作動させながら直線または半径300m以上のゆるやかなカーブを約65km/h以上で走行中、移動先車線の前方後方に

各機能が作動する状況を
わかりやすく解説した動画や
スペシャルムービーを
ご覧いただけます。

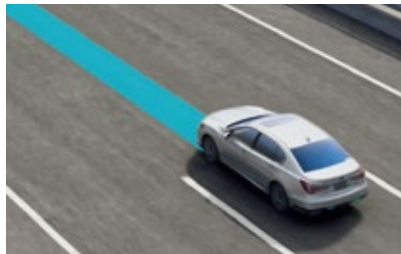




写真はトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能) 作動イメージ 画面はハメコミ合成

Honda SENSING Eliteの主な機能

各機能は高精度地図が対応している高速道路、自動車専用道で作動します。



ハンズオフ機能付 車線内運転支援機能

ステアリングから手を離れたハンズオフ状態での車線維持、定速走行、追従走行を支援。

ハンズオフ機能付 車線変更支援機能

ウインカーを操作すれば、ハンズオフのままシステムが車線変更を支援。

■車線変更する前に必ず車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認してください。

ハンズオフ機能付 高度車線変更支援機能

システムが状況を判断し、ハンズオフのままシステムがウインカーの操作から車線変更や追い越しを支援。

■車線変更する前に必ず車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認してください。

トラフィックジャムパイロット (渋滞運転機能)

条件付自動運転機能(限定領域)

高速道路渋滞時、システムが周辺の監視をはじめ運転操作を行い、ハンズオフに加え、ナビ画面での動画視聴、ナビの目的地設定などが可能に。

緊急時停車支援機能

システムからの操作要求に応じ続けられない場合、周囲に警告を行いながら、減速や路肩寄せ^{*}、停車を支援。

^{*}路肩がある場合。状況により車線変更せずに停車することがあります。

車両がないとき、かつ、車線変更する側の車線境界線が破線・実線のときに作動します。■ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能は、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能を作動させながら、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が設定ONの状態、直線または半径500m以上のゆるやかなカーブを約65km/h以上で走行中、移動先車線の前方後方に車両がないとき、かつ、車線変更する側の車線境界線が破線のときに作動。先行車が設定した車速より遅く、自車との速度差が約15km/h以上ある場合に車線変更・追い越しを開始します。■トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)は、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動中、車速が約30km/h以下になり、かつ前後に車両がいる渋滞走行時に作動します。渋滞が解消したり、車速が約50km/h以上になると、作動を終了し、運転者に操作要求を行います。システムから要求があった場合には、運転者が運転操作を行う必要があります。■緊急時停車支援機能は、運転者が一定時間システムからの操作要求に応じない場合に作動します。あらゆる状況で安全な停車、衝突の回避や衝突による被害軽減を保證するシステムではありません。意図的にシステムを作動させると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがありますので絶対に意図的に作動させないでください。■写真は機能説明のための合成イメージです。

まだまだ広がる、Honda SENSING搭載車種。



セダンやミニバン、コンパクトはもちろん軽自動車にまでHonda SENSINGを搭載。
より多くの人に安心と快適をお届けします。

車種・タイプにより、搭載される機能は異なります。詳しくはWEBサイトでご確認ください。



「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現

次世代のために、今できること。これからすべきこと。Hondaは常に考え、積極的に行動していきます。



製品のライフサイクルの各段階で資源使用と環境負荷の最少化をめざすとともに、製品によって、モビリティと暮らし全体で排出する温室効果ガスのゼロ化をめざします。

Safety for Everyone

すべての人の安全をめざして

すべての人が、心から安心して、どこへも自由に移動することができる。そんな喜びのある社会をつくりたい。その想いで、Hondaは力を尽くしていきます。



Together for Tomorrow
夢のある明日の社会づくりをめざして

地域に根づいた企業として、社会や人々とともに心豊かで活力ある明日をめざす社会活動を、グループ全体ですすめています。

快適なカーライフを過ごしていただくために

新車登録日から3年間、安心のメーカー保証。

保証期間は、新車登録日から3年間^{※1}。また、Hondaが特に指定した部品は5年間^{※2}となります。保証内容は保証書、または販売会社にてお確かめください。
^{※1} 期間内でも走行60,000kmまで ^{※2} 期間内でも走行100,000kmまで

Honda Total Care

日々のドライブやメンテナンス、急な困りごとなど、乗っている時はもちろん乗っていない時まで様々なカーライフシーンをサポート。
詳しくは、Honda Total Careホームページへ。<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

Honda C-Card

入会受付中

Honda販売会社での新車購入/点検・車検/部品購入や、日々のカードのご利用でポイントが貯まるHonda Cカード。貯まったポイントは現金、電子マネー楽天Edy、Hondaグッズに交換できます！詳しくはHonda Cカードホームページへ。<https://www.honda.co.jp/C-CARD/>

Honda Cars よりお届けします。

本田技研工業株式会社 〒107-8556 東京都港区南青山2丁目1番1号

お問い合わせ、ご相談はお近くの販売会社、または下記のフリーダイヤルまで。

●車両について

Honda お客様相談センター 全国共通フリーダイヤル
☎ 0120-112010 (受付時間: 9時~12時 13時~17時)

●純正用品(ディーラーオプション)について

ホンダアクセス お客様相談室 全国共通フリーダイヤル
☎ 0120-663521 (受付時間: 9時~12時 13時~17時
但し、土日・祝日・ホンダアクセス指定休日は除く)

2021.03

このカタログの内容は
2021年3月現在のものです。

Honda SENSING BOOK
ZBB49HM211A00
2102◎

後席もシートベルト、チャイルドシートも忘れずに。